会社情報・株式情報

Corporate Information/Stock Information

会社概要

(2020年3月31日現在)

商号	SBテクノロジー株式会社
本店所在地	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
事業内容	ICTサービス事業
ホームページ	https://www.softbanktech.co.jp/
資本金	1,176百万円
従業員数	連結1,068名

※2019年10月1日にソフトバンク・テクノロジー株式会社からSBテクノロジー株式会社に商号を変更しました。

役 員

(2020年6月26日現在)

取締役および監査役		執行役員	
代表取締役	阿多　親市	最高経営責任者執行役員	阿多　親市
取締役	佐藤　光浩	副社長執行役員	佐藤　光浩
取締役	喜多村　晃	上席執行役員	喜多村　晃
取締役	児玉　　崇	上席執行役員	児玉　　崇
取締役	渡辺　真生	上席執行役員	渡辺　真生
取締役	金子　公彦	執行役員	正岡　聖一
取締役(社外)	鈴木　茂男	執行役員	清水　哲也
取締役(社外)	宗像　義恵		
常勤監査役(社外)	上野　光正		
監査役(社外)	廣瀬　治彦		
監査役(社外)	中野　通明		
監査役	内藤　隆志		

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行　証券代行部 〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324(フリーダイヤル)
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行　証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)
上場取引所	東証第一部(コード番号 4726)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 https://www.softbanktech.co.jp/

株式の状況

(2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	85,121,600株
発行済株式の総数	22,663,200株
株主数	6,389名

大株主

(2020年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ソフトバンク株式会社	10,735,000	53.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,924,100	9.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	668,100	3.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	543,200	2.69
ゴールドマンサックスインターナショナル	385,692	1.91
石川　憲和	240,000	1.19
佐藤　友一	190,500	0.94
SBテクノロジー従業員持株会	190,435	0.94
バンク　オブ　ニューヨークジーシーエム クライアント　アカウント　ジェイピーアールデイ　アイエスジー　エフイーエイシー	157,528	0.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	144,300	0.72

※持株比率は自己株式(2,501,422株)を控除して計算しています。

所有者別持株比率

(2020年3月31日現在)

株主アンケートご協力のお願い

ネットでアンケート Provided by TAKARA Printing

回答締切:2020年8月31日

当社の経営・IR活動の参考のために、ぜひご意見・ご感想をお聞かせください。
同封のハガキまたは以下URLよりご回答いただけます。

https://q.srdb.jp/　アクセスコード 4726

右のQRコードからもアンケート画面へアクセスいただけます。

SBテクノロジー株式会社

お問合せ先	経営企画本部　経営企画部
TEL	03-6892-3063
MAIL	sbt-ir@tech.softbank.co.jp
住所	〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア 17階

※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
※本紙では、「全ての人が読みやすいフォント」という基本的な考え方に基づくユニバーサルデザイン書体(当社子会社のフォントワークス㈱開発)を使用しています。
Copyright © SB Technology Corp. All Rights Reserved.

SBテクノロジー株式会社

BUSINESS REPORT 2020

2019.04.01 – 2020.03.31

SB Technology

SBTが目指す姿

豊かな情報化 社会の実現

お客様

通信 | 製造 | 建設 | 農業 | 官公庁 | 自治体 | ・・・

情報システム部門
DX時代に向けた対応・準備

社員 → 生産性向上

IT部門 → 時間創出

事業部門
DX加速

→ 競争力強化

SBT

サービス cloUXion Managed Security Service

Cloud & Security

コンサルタント

重点テーマ サービスプロバイダーへの進化

1. サービス化につながるシステム開発に集中
2. クラウド&セキュリティのサービス化推進
3. パートナーセールスの確立と強化

重点テーマ コンサルティング&ビジネスITの創出

1. 既存ビジネスのクラウド・DX推進
2. IoTや先端技術を活用した新ビジネスの協創
3. スクラム開発の浸透

2022年3月期 経営指標

営業利益 43億円
2019年3月期/25億円を起点にCAGR 20%

BIT&CIT売上高構成比率 50%

ROE(自己資本利益率) 13%

Top Message

第3次中期経営計画の1年目は好調に着地
2年目はデジタル化やテレワーク支援を一層強化

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様に謹んで哀悼の意を表するとともに、罹患されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私たちは「日本企業の競争力を高めるクラウドコンサルティング＆サービスカンパニー」になることを長期の目標に、第3次中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）を推進しています。

中期経営計画の1年目は、重点テーマとして掲げている「サービスプロバイダーへの進化」、「コンサルティング＆ビジネスITの創出」に適した新しいソリューション区分を定め、またサービスの提供・開発体制の最適化など、計画を推進してまいりました。この結果、過去最高の業績となり好調に1年目を終えることができました。

中期経営計画は2年目を迎えておりますが、現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により私たちの生活や経済活動に大きな影響が出ている状況です。

このような状況だからこそ、技術の力で解決できるお客様の課題が数多くあると信じております。

2020年4月からは組織体制を機能別組織から事業部制組織に移行し、注力ソリューションであるコーポレートITソリューションとビジネスITソリューションをより強力に推進しています。アフターコロナの時代に必要となるテレワークの定着やデジタルトランスフォーメーションの加速、デジタルガバメントの推進、またこれらに必要不可欠なセキュリティ対策などを通じて社会に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 CEO　阿多親市

決算分析

Financial analysis

❶ 連結売上高および各利益が過去最高

❷ コーポレートITソリューション＆ビジネスITソリューションが増益に貢献

❸ テクニカルソリューションが大きく増収

業績概況

国内の企業及び官公庁・自治体のIT戦略は、オンプレミス（社内設置）からクラウドを前提としたクラウドファーストにシフトしています。ITの浸透によって人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化をもたらすデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進に向けて、生産性向上のためのクラウド導入及び利活用、テレワークに対応するためのセキュリティ対策への投資機運が高まっています。また、戦略的事業領域の強化や競争優位確保のためのDX投資など、企業における戦略的なIT活用ニーズが高まっています。

このような経営環境の中、ICTサービス事業は堅調に推移し、各ソリューションともに増収増益となりました。

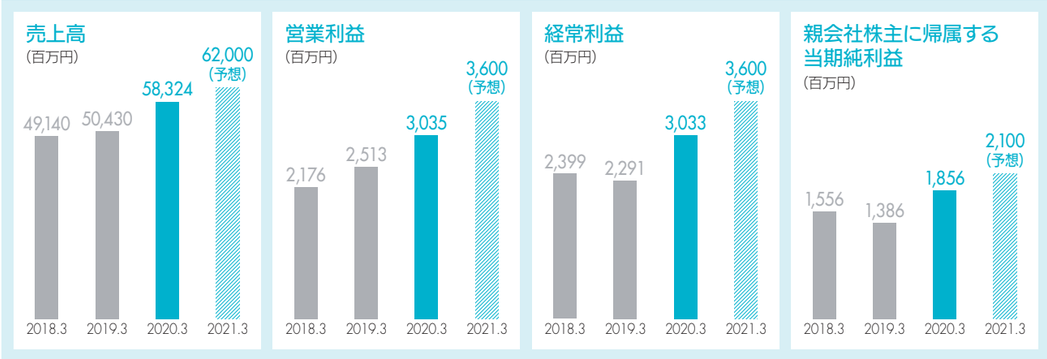
コーポレートITソリューションでは、特にAzureを利用したシステム開発案件や、セキュリティの運用監視・コンサルティング案件が増加しました。テレワークの需要増加により、自社サービスのclouXion（クラウジョン）やマネージドセキュリティサービスも伸長しました。

ビジネスITソリューションでは、注力業界と定めたグローバル製造業向けのIoTシステム開発案件や農林水産省向けの電子申請基盤の開発案件により大きく伸長しました。一方で、戦略の見直しによりウェブ解析関連ソリューションは縮小しています。

テクニカルソリューションでは、第３四半期より開始したソフトバンク株式会社のIT領域においてベンダーマネジメント案件やソフトバンクグループ各社向けの開発・運用サービス案件が堅調に推移しました。

ECソリューションでは、ノートンストアのEC運営代行ビジネスが堅調に推移しました。

以上の結果、当連結会計年度における業績は、売上高、限界利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも過去最高となりました。



ーお客様のテレワークの実　現にむけたSBTの取り組みー

社外から社内情報にアクセス不可
テレワーク対応できず通勤

✕ 社外

自社に
サーバーを
設置

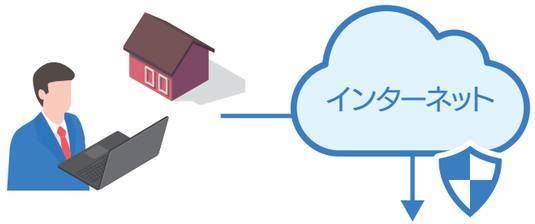
clouXion
Managed Security Service

テレワークを実現するクラウド開発と
自社サービスの提供

社外から安全に社内　情報にアクセス可能
テレワーク　が可能に

○ 社外

Microsoft 365 / Teams



サーバーを
クラウド化

コンサルティング

DXの推進・テレワーク活用ノウハウの
提供

アフターコロナへの対応
さらなるテレワーク定着

2009年から進めてきたテレワーク支援の土台作り

どこよりも長い取り組み

SBTは、クラウド黎明期といわれている2009年からいち早くマイクロソフトのクラウド製品を取り扱い、クラウドビジネスを開始。どこよりも長い取り組みで多くの知見を蓄積しています。

トップクラスの
クラウド導入実績

大手企業を中心に、Microsoft 365からAzure環境での開発まで、国内トップクラスの導入実績を持っています。

クラウド導入実績：1,000社超

豊富な独自ソリ　ューション

これまでの知見とをもとに開発したド活用ソリューショランドとして提供し　ユーザーの声様々なクラウンを、自社ブています。

clouXion

積極的な自社導入による
ノウハウ蓄積

SBTは、取り扱うクラウドサービスを積極的に自社へ導入しています。それにより得られた知見は、お客様の業務効率化への貢献や自社サービスの開発、テレワーク制度の策定などに活かしています。

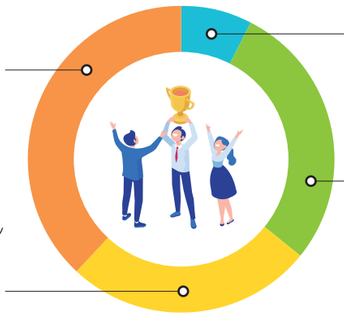
自社テレワーク推進活動の成果

- ☑ 厚生労働省のテレワーク普及推進策「テレワーク宣言企業」に選定
- ☑ 日経 Smart Work プロジェクトのシンポジウムに取締役の児玉崇が登壇
- ☑ 決算説明会・株主総会のオンライン開催をTeamsで実現

数字で分かるSBT

会社をあらわす数字

セグメント別売上高



EC
ECソリューション
220億円

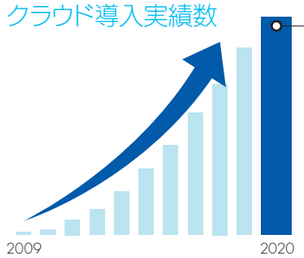
TS
テクニカルソリューション
153億円

BIT
ビジネスITソリューション
45億円

CIT
コーポレートITソリューション
164億円

BIT+CIT構成比率
35.9%

クラウド導入実績数



現在の導入企業数
1,000社超
2020年1月時点

マイクロソフトパートナーアワード受賞ファイナリスト選出数

Microsoft Partner of the Year 2019 AWARD

Microsoft Partner
2019 Partner of the Year Finalist
Internet of Things Award

国内 10回

グローバル 6回

顧客別売上高

個人向けEC
201億円

SBグループ
175億円

大手企業・官公庁
206億円
(全体の35.3%)

クラウド・セキュリティサービス数

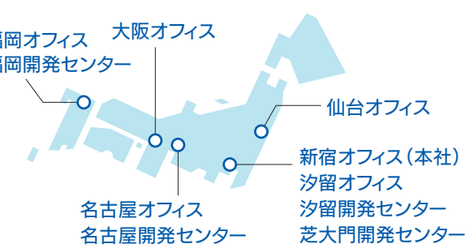
clouXion 15サービス

Managed Security Service 10サービス

拠点数

国内
10拠点

海外 1拠点



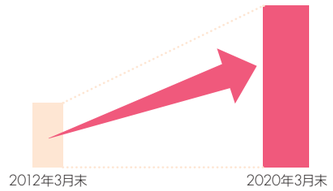
主要なSBTグループ会社

6社

※表示している数値については、端数処理の関係から、各種数値と乖離が出ている場合があります。
※2020年3月末時点

社員をあらわす数字

社員数(連結)



1,068人

男女構成

男性
80%

女性
20%

平均年齢

37.4歳

年齢構成比

20代 17%

30代 44%

40代 32%

50代 7%

テレワーク利用率(本社オフィス)

※1日における最大の利用率

95%

1人あたり有休消化率

73%

平均勤続年数

7.3年

新卒・中途社員割合

新卒
25%

中途
75%

社内部活動数

6部活

能力開発休暇の取得割合

取得総日数
347日

取得人数
154名

※2020年3月末時点

財務情報

Financial information

決算期(年度)	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3
売上高(百万円)	45,163	50,225	49,140	50,430	58,324
営業利益(百万円)	2,308	2,241	2,176	2,513	3,035
経常利益(百万円)	2,230	2,286	2,399	2,291	3,033
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,405	1,598	1,556	1,386	1,856
総資産※1(百万円)	25,974	26,807	26,171	27,492	32,486
純資産(百万円)	11,726	13,015	14,532	15,857	17,617
自己資本(百万円)	11,188	12,566	13,723	14,820	16,410
株主資本(百万円)	11,136	12,547	13,714	14,829	16,425
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	1,425	2,168	3,077	2,784	3,329
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△ 361	△ 959	△ 997	△ 1,092	△ 1,753
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△ 1,128	△ 751	△ 548	△ 567	△ 477
現金及び現金同等物の期末残高(百万円)	5,616	6,075	7,606	8,728	9,826
売上高営業利益率(%)	5.1	4.5	4.4	5.0	5.2
売上高当期純利益率(%)	3.1	3.2	3.2	2.7	3.2
総資産経常利益率(ROA)(%)	9.3	8.7	9.1	8.5	10.1
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	13.1	13.5	11.8	9.7	11.9
自己資本比率(%)	43.1	46.9	52.4	53.9	50.5
1株当たり当期純利益※2(円)	72.37	82.16	79.09	70.23	92.56
1株当たり純資産※2(円)	579.94	638.79	693.64	747.03	813.94
1株当たり配当金※2(円)	15	15	15	20	30.0
配当性向(%)	20.7	18.3	19.0	28.5	32.4

※1 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を2019年3月期から適用
※2 2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して記載

トピック

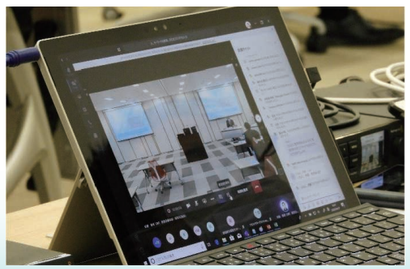
決算説明会、株主総会をMicrosoft Teamsでライブ配信

Microsoft Teamsを利用した決算説明会は国内初の事例

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として、2020年3月期本決算説明会と第32期定時株主総会を「Microsoft Teams」を利用したライブ配信で実施いたしました。

決算説明会においては多くのアナリストや機関投資家、報道関係者に参加いただき、また多くのメディアにもとりあげていただきました。この取り組みで得られた経験やノウハウを活かし、お客様の課題解決に貢献してまいります。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。

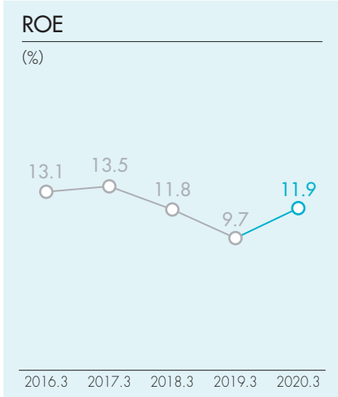


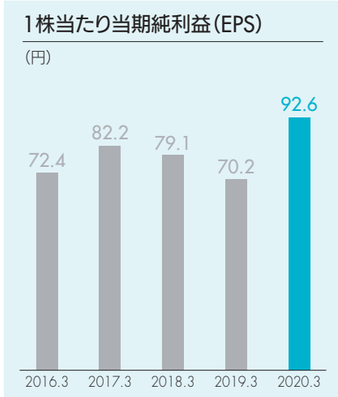
株主還元策について

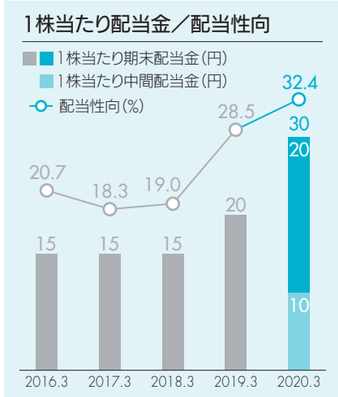
第3次中期経営計画において、最重要経営指標として掲げている2020年３月期を起点にしたCAGR20%の営業利益成長により営業利益3,000百万円を達成しました。

今後も継続的な成長が見込まれることから、当期の年間配当金につきましては、前期と比較して10円増配し、１株当たり30円(中間配当10円＋当期末配当20円)の普通配当の実施を予定しております。

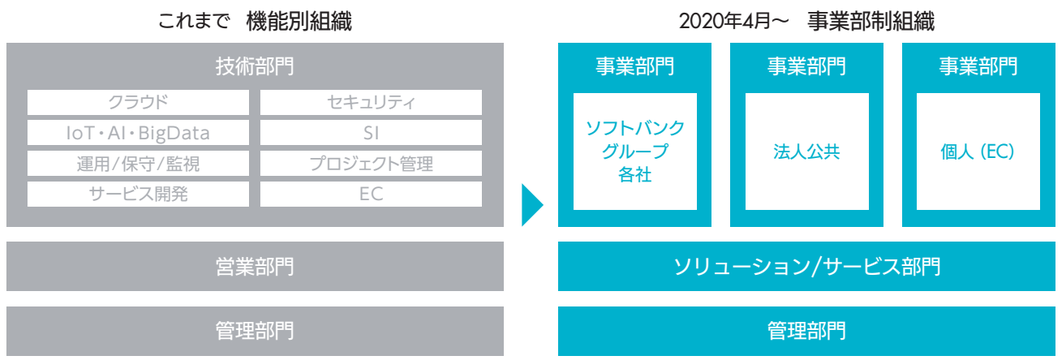
また、次期配当につきましては、当期と同額の1株当たり年間配当金30円の普通配当とし、中間配当金15円、期末配当金15円を予定しております。







※ 2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」および「1株当たり配当金」を記載しております。

2020年4月より、事業部制に移行

SBTはサービスプロバイダーに進化することと、コンサルティング＆ビジネスITを創出していくことを第3次中期経営計画の目標としています。それに伴い、会社全体の組織を大きく変更し、2020年4月1日より機能別組織から事業部制に移行しました。製販が一体となることでスピード感をもった意思決定を可能とし、お客様のビジネスパートナーとして事業支援の強化を行っていきます。